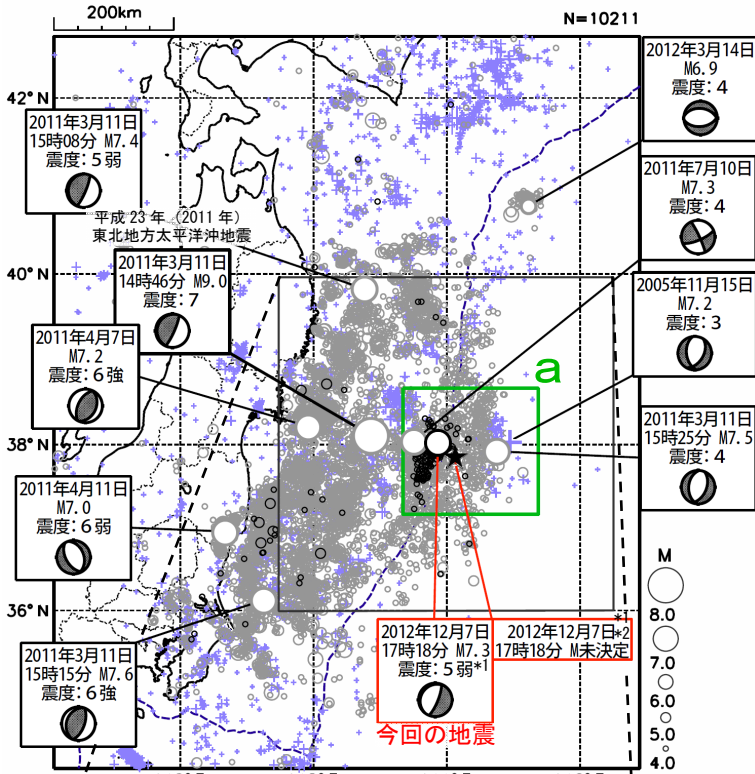


12月7日 三陸沖の地震

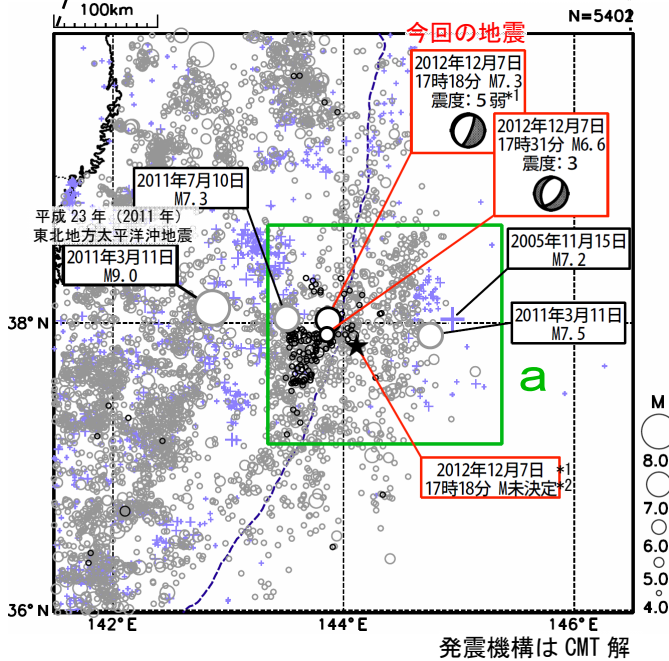
震央分布図

(1997年10月1日～2012年12月31日、深さ0～100km、M \geq 4.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○、2012年12月7日のM7.3の地震以降に発生した地震を濃い○で表示



発震機構はCMT解



発震機構はCMT解

1997年10月以降の活動を見ると、東北地方太平洋沖地震の発生前、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生していたほか、2005年11月15日にはM7.2の地震（最大震度3）が発生した。2005年のM7.2の地震では岩手県の大船渡で高さ42cm、宮城県の上巻市鮎川で16cmの津波を観測している。

東北地方太平洋沖地震の発生以降は、直後の2011年3月11日15時25分にM7.5の地震（最大震度4）が発生するなど地震活動がそれまでよりも活発化した。その後活動は徐々に低下してきていたが、東北地方太平洋沖地震の発生前よりも活発な状態が続いていた。

2012年12月7日17時18分に三陸沖でM7.3の地震（最大震度5弱*1）が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型である。また、この地震の約8秒前にもM7クラスと推定*2される地震*1が発生した。これらの地震は日本海溝付近の太平洋プレート内部で発生した。ともに「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内で発生した地震である。

気象庁は今回の地震の発生に伴い、同日17時22分に宮城県に対して津波警報（津波）を、青森県太平洋沿岸、岩手県、福島県、茨城県に対して津波注意報を発表した（同日19時20分にすべて解除）。今回の地震により津波が発生し、石巻市鮎川で98cmなど、東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。

今回の地震により、死者1人、負傷者15人等の被害が生じた（総務省消防庁による）。また、今回の地震の発生後、同日17時31分にM6.6の地震（最大震度3）が発生するなど、活発な余震活動が見られた。

*1: この2つの地震は近接した地域でほぼ同時に発生したため、震度の分離ができない。

*2: 直後に発生したM7.3の地震の影響でマグニチュードを正確に決定することができない。この資料の震央分布図及びM-T図では、参考のためM7.0のところに★印で表示した。

領域a内のM-T図

